



2013年度
久地大学パンフレット



■はじめに

私たちの暮らす世界は常に変化し続け、大きく動いています。
過去の文化、技術が衰退化し、新たな文化、技術が生まれては、やがて消えていきます。
その時代の経過の中で人類は社会を作り、経済を動かし、生活を営んでいます。

自分自身が産まれた瞬間に自分自身の歴史が始まります。
その歴史を歩むことを人生と呼びます。
人は一日、一日の歴史を刻みながら歩み始め、
成人となり、社会生活を営み、子孫を産み、子孫を育み、
年齢を重ね、老い、生涯を全うします。

人は人生と言う名の歴史の中で、幾度もの喜び・怒り・悲しみ・楽しみを感じながら、
幾度もの困難を乗り越え、人類に貢献し、進化していく生物です。

「人類あるいは社会に貢献するために、今の私たちが出来ること。・・・それは何か？」
その問いに対する解を導き出し続けることが久地大学の使命と考えています。

久地大学はその使命に挑戦し、次世代へ繋ぎ続けていく組織です。



■生涯を通して学び続ける、9学部16学科

学部	学科	特色
法学部	法学科	社会規範の歴史を辿り、現在の日本および外国諸国の法律を学びます。
	政治学科	日本を含めた世界の政治をニュース、新聞、たけしのTVタックル、朝まで生テレビを題材に学びます。
経済学部	経済学科	日本を含めた世界の経済をニュース、新聞、たけしのTVタックル、朝まで生テレビを題材に学びます。
	経営学科	久地の経営者を招き、組織の運営、企業の経営ノウハウを学びます。
文学部	哲学科	「人は皆、哲学者である。」を基礎思想とし、各個人の哲学を研究します。
	史学科	NHK大河ドラマを題材とし、日本の歴史を研究します。
	日本文化学科	日本の娯楽全般を題材にし、研究します。
	外国文化学科	世界の娯楽全般を題材にし、研究します。
理工学部	建築学科	現役の職人を招き、建築の歴史、現在、未来を学びます。
	統計学科	確率論を中心に、株、為替、ギャンブルについて研究します。
生物学部	生物学科	理学的・社会的見地から主に人類の生態について研究します。
情報学部	情報学科	情報システム、WEBサイトなどの企画、設計、構築、運用を研究します。
体育学部	体育学科	健康ランド、ストリートダンス、ダブルダッチを題材に、人体運動について研究します。
音楽部	邦楽学科	各キャンパスに設置してあるカラオケを活用し、邦楽について研究します。
	洋楽学科	各キャンパスに設置してあるカラオケを活用し、洋楽について研究します。
人生基礎部	人生基礎学科	各個人の生活を題材に、自身の社会貢献、健康、生活について研究します。



■キャンパス

久地大学はフリーアドレス制のキャンパスとなっており、建造物としての校舎を所有しておりませんが、久地もしくは宿河原の商店街の店舗と連携しキャンパス化しています。

～主な提携キャンパス～

■太郎と花子

店舗形態：喫茶&スナック

挽きたての美味しいコーヒーと軽食そしてアルコールを提供するリラックスモードなキャンパス

■楽楽

店舗形態：おふくろの居酒屋

日本のボリュームミーな家庭料理を中心にアルコールを提供する夜間キャンパス

■東各下公園

店舗形態：なし

体育学部で主に使用するキャンパス



■多彩な教授陣

久地大学では多彩な知識・知恵・経験・良識・非常識を備えた魅力的な教授陣が多数在籍しています。

～主な教授～

■青木清

専門：経営学・建築学・人生基礎学

主要キャンパス：楽楽

■たけしまスター

専門：統計学

主要キャンパス：太郎と花子

■熊坂諭

専門：体育学・情報学

主要キャンパス：東名下公園・楽楽・太郎と花子



■入学資格

久地大学の入学資格は下記3点の条件を満たす方が対象となります。

～入学資格の対象～

■年齢

20歳以上であること。

■心持ち

紳士もしくは淑女であること。

■専門知識・専門技能

なんらかの専門知識・専門技能があることが望ましい。



■入学後の機会について

久地大学に入学した後は、下記3点の機会（チャンス）が期待されます。

～入学後の機会～

■キャリアチェンジの機会

生徒や教授陣との交流の中で、転職や新規事業のアイデア発見などのキャリアチェンジの機会が期待されます。

■出会いの機会

入学後は様々な人々と触れ合う機会が期待されます。

■学び・教えるの機会

生徒として学び、自身の専門分野を教授として教える機会が増えることが期待されます。



■校訓

人は、学び、活かし、教え、継承し続ける。

人はその流れの中で、喜び、怒り、哀しみ、楽しみを繰り返す。

人はその感情の中で、生涯を通して学び続ける。

学びは人に於いて大きな礎となり

人は組織を作り、組織は人類となり、

人類は継承の叡智を獲得し続けるのだ。

先人たちの遺した善と悪の歴史、

その両者を知識として蓄え、知恵として活かし、

人類は歩み続けるのだ。

私達は、

過去を知り、

現在を生き、

未来を切り開き続けるのだ。

～初代久地大学学長 熊坂諭～